

## 「（仮称）新阿蘇おぐにウインドファーム計画段階環境配慮書」 についての熊本県知事意見

「（仮称）新阿蘇おぐにウインドファーム計画段階環境配慮書」の内容を環境保全の専門的見地から審査した結果、環境影響評価の実施及び環境影響評価方法書の作成に当たっては、以下の事項に十分配慮する必要がある。

### **[水環境]**

#### 〈水質〉

- （１）事業実施想定区域及びその周辺には、田原川等の内水面共同漁業権（内共第 8 号）が設定されている河川が存在することから、事業実施による濁水の流入によりアユやヤマメ等の生息環境に影響を与えないよう留意すること。

### **[動物・植物・生態系]**

#### 〈動物〉

- （１）風力発電機の大型化によりバードストライクの発生件数増加が懸念されることから、現地調査や専門家へのヒアリング等により、事業実施想定区域周辺に生息する鳥類の飛翔高度の把握を行うとともに、適切に事業計画に反映させること。
- （２）事業実施想定区域周辺ではクマタカ等の希少猛禽類の生息が確認されていることから、事業実施により重大な影響を及ぼさないよう風力発電機の配置場所や基数等について検討すること。
- （３）事業実施区域及びその周辺には「熊本県レッドデータブック 2019」に掲載されている種等の希少野生動植物が生息・生育している可能性があることから、事前に調査を実施するとともに、必要に応じて学識経験者の意見を踏まえた環境保全対策を行う等配慮を行うこと。

#### 〈植物〉

- （１）事業実施想定区域の一部には植生自然度の高い場所が存在することから、事業実施により重大な影響を及ぼさないよう適切に配慮すること。

### **[景観・人と自然との触れ合いの活動の場]**

#### 〈景観〉

- （１）周辺住宅や集落からの眺め等、生活環境の場における景観は住民にとって重要なものであることから、フォトモンタージュの作成等により、本事業による景観への影響について適切に予測及び評価すること。

- (2) 事業実施想定区域は山深い場所にあり、主要な眺望点の中には 360 度の眺望を持った山や展望所が多く存在することから、スカイラインの分断等に関し十分に配慮した計画とすること。
- (3) 事業実施想定区域を含む阿蘇地域では世界文化遺産登録に向けた取組が進められていることから、事業実施により景観等へ影響を及ぼさないよう阿蘇世界文化遺産学術検討委員会等関係機関の意見を踏まえた調査、予測及び評価並びに事業計画の検討を行うこと。
- (4) 菊池阿蘇スカイライン（県道 4 5 号）やミルクロード（県道 1 2 号）、やまなみハイウェイ（県道 1 1 号）等の線的要素（シークエンス景観）を主要な眺望点として追加する必要があるか検討すること。

#### **[その他]**

- (1) 事業実施想定区域のうち、西側ルートの多くは山地災害危険箇所指定されていることから、防災等に配慮した工事計画を検討すること。